

ふくふくネット

済生会福岡総合病院 vol.073

ご自由にお取り下さい

Take Free

もくじ

- 2 この人に聞きたい
- 4 病診連携ネットワーク
- 5 新認定看護師のご紹介
- 6 クラウドファンディングへの挑戦
- 8 患者さん満足度調査および待ち時間調査
- 10 TOPICS
- 11 TOPICS
新任医師・退職医師紹介
- 12 各科診療担当表



無料低額診療と生活困窮者支援事業を行っています。

●毎月第2水曜日には「健康相談会」も実施しています。

お問い合わせ先:092-771-8151(代表) 医療相談室まで

当院の理念

地域社会の皆さまや先生方に信頼され真の満足をしていただける病院づくり

当院の基本方針

済生の心で医療・福祉に貢献します

救急医療を充実し、高度専門医療を推進します

良質で安全な医療を提供します

地域医療連携を積極的にすすめます

Medical Interview

この人に聞きたい



さかもと **坂本 美穂** 副看護部長
ほり **保利 京子** 認知症看護認定看護師

当院では、認知症者や高齢者の患者さんに対し、優しさを伝えるケア「ユマニチュアード®」を通じた質の高いケアの実践に取り組んでいます。今回、このユマニチュアード活動の中心メンバーである坂本副看護部長と認知症看護認定看護師の保利さんにお話を伺いました。

なぜユマニチュアードを当院で推進することになったのですか。

坂本：最初にユマニチュアードを知ったのは2020年です。高齢者や要介護者の尊厳を守るため、身体的・心理的拘束をなくすことを目指す「身体拘束ゼロプロジェクト」の取り組みを始めた頃でした。身体拘束を行わないよう、さまざまな策をとる中で「いつか当院でも…」という思いを持っていました。その後、新型コロナウイルス感染拡大もあり

プロフィール

坂本 美穂(さかもと みほ)
千葉県出身
1994年 看護師資格取得
1998年 済生会福岡総合病院入職
2013年 看護課長就任
2018年 副看護部長就任
2023年 認定看護管理者資格取得

保利 京子(ほり きょうこ)
福岡県出身
2003年 看護師取得
済生会福岡総合病院勤務
2021年 認知症看護認定看護師取得

2023年になりましたが、プロジェクト内で検討する場を持ち、本格的に導入していくことを全員一致で決めました。超高齢化社会に突入した昨今、当院で受け入れる患者さんも高齢者が増加しており、高齢者に対しても質の高い安心安全な治療の提供を行っていくため、また患者さんが当院での治療時にできるだけ機能の低下を防ぎ、次のステップへ移行するためにもこのケアの実践が望ましいと判断しました。

福岡市もユマニチュアード支援に積極的ですが、今回の導入に影響がありましたか。

坂本：福岡市のユマニチュアード支援事業には、日本ユマニチュアード学会がパートナーとして参画しています。導入準備を進めていた2024年の6月、ユマニチュアードの創始者であるイブ・ジネスト先生と日本ユマニチュアード学会代表理事の本田美和子先生をお招きし、院内講演会を開催しました。本田先生と当院総合診療部の田中和豊医師が知り合いだったことで実現しましたが、福岡市の病院」ということでスムーズに講演をお引き受けいただいたようにも思います。また講演会には福岡市のユマニチュアード推進部の方々もご参加いただいたので、今後の連携をお願いしました。それから医療従事者向けの研修会参加への支援や大学の研究への協力依頼などをいただき、当院の導入に弾みを

つけてくれたように思います。

今さらですが、ユマニチュアードって何ですか？

保利：一言で言うとう、「あなたのことを大切に思っています」ということを相手にわかるように届ける、優しさを届ける技術です。これがユマニチュアードの哲学です。そのため「見る」「話す」「触れる」「立つ」というコミュニケーションの4つの柱とすべてのケアを一連の物語のように完結させる「5つのステップ」があり、150以上の技術があります。坂本：これらはその哲学が根底にあり、人を尊重することを伝えるもので一般の方にも実践が可能です。

現在の取り組みを教えてください。

坂本：10月末に日本ユマニチュアード学会認定のチーフインストラクターによる実践者育成の4日間研修を実施しました。ユマニチュアードケアの哲学を理解し、この良さを病棟にそして病院全体に広げたいという熱い思いを持ったスタッフたちが誕生しました。現在2つのモデル病棟でのケア実践と拡大を目指し、まだまだ孤軍奮闘なところはありますが、頑張ってくれています。

保利：忙しい中で頑張ってくれているので、くじけないように私たちがフォローしています。

実際にどのような変化が見られましたか？

保利：夜間、せん妄で眠れなかった患者さんがユマニチュアードの実践によりせん妄が落ち着き眠れるようになり、その対応でDCT(せん妄・認知症ケアチーム)が呼ばれることも少なくなりました。また低活動の患者さんで廃用症候群の恐れがあった患者さんが、寝たきりになることなく入院生活を送れたという事例もあります。

坂本：研修を受けたスタッフたちは、経験年数に関係なく積極的にケアの実践を行っており、今まで以上に患者さんのことを深く考えるようになったと言います。看護師側にも良い変化をもたらしているようです。

今後の展望をお願いします。

坂本：看護師やナースエイドだけでなく、



最近一緒にウォーキングを始めました。「いつかは富士山」を合言葉に、少しずつ距離を伸ばしながら練習中です！



新認定看護師のご紹介

当院では現在、16分野29人の認定看護師がそれぞれの看護分野において、熟練した看護技術と知識をもって、質の高い看護ケアに努めています。

この度、新たに3人の認定看護師が加わりましたので、ご紹介します。

認知症看護認定看護師 たさか まり 田坂 真理さん

認知症ケアでは、認知症のある方がその人らしく入院生活を送れるよう疾患のみならず、患者さんのこれまでの暮らしや大切にしてきた思い、ご家族の状況を丁寧に伺いながら関わることを大切にしています。こうした関わりは、治療中の不安や混乱を和らげ、安心して過ごせる環境づくりにつながります。入院中にとどまらず、退院後も患者さんとご家族が安心して地域で生活を続けられるよう、多職種と協働し、関係機関と連携した支援を行ってまいります。



摂食嚥下障害看護認定看護師 さとう たいし 佐藤 大志さん

今まで当たり前できていた「食べること」が、ある日突然できなくなってしまうことがあります。食べることは生きる希望であり、人生の楽しみの一つです。より多くの方に、1日でも早く、そして1日でも長く安全に「ひとくち」を食べていただきたいという思いから、摂食嚥下障害看護認定看護師を目指しました。

今後ますます高齢患者さんが増加する中で、摂食嚥下障害をもつ人を中心に考え、連携施設とも情報共有しながら、その人らしく食べることを支えていきたいと考えています。



緩和ケア認定看護師 こぶき かほ 小吹 佳穂さん

緩和ケアと聞いて、終末期に行う治療やケアといった印象を抱いている方もおられると思います。しかし、緩和ケアとは、がんなど生命を脅かす病気や問題に直面している患者さんとそのご家族の様々な苦痛や苦悩に対して、診断初期から症状緩和や予防を行い、その人がその人らしく生きることを支えることをいいます。

私は、対話を通してその人の持つ人生観や価値観、その人が抱える苦痛や苦悩を理解しようとし続け、向き合い続けること、そばに居続けることを大切にしています。患者さんやご家族と共に揺れ動き、共に考えながら、全人的な視点から最期まで自分らしく生きるお手伝いができればと思いますので、いつでもお声がけください。



中村脳神経外科クリニック

院長 **中村 普彦** (なかむら ゆきひこ) 先生

診療内容 脳神経外科

地域によりそう
脳と神経のかかりつけ医。



当院は脳や神経に関する治療を得意とするクリニックです。救急や脳卒中、脳神経外科の豊富な治療験を活かし、最新治療と医療機器で低侵襲な治療を提供します。また脳ドックをはじめ、日々の暮らしに寄り添った生活習慣改善のサポートや病気の「未然防止」にも力を入れています。ささいなことで結構ですので、お気軽にご相談ください。

〒814-0121 福岡市城南区神松寺2-12-6
TEL 092-874-1170

【受付時間】 平日 9:00~12:30 / 14:00~18:00

【休診日】 水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



病診連携ネットワーク

Tenjin Toya Clinic

院長 **遠矢 政和** (とや まさかず) 先生

副院長 **遠矢 麻衣子** (とや まいこ) 先生

診療内容 整形外科・リハビリテーション科・再生医療・皮膚科・美容皮膚科

痛みやしびれからお肌のお悩みまで
整形外科専門医と皮膚科専門医のクリニック



2025年7月、地下鉄天神南駅から徒歩1分、大丸福岡天神店の向かい・国体道路沿いのビル5階に開院いたしました。整形外科では、理学療法士による運動療法をはじめ、国内外での臨床・研究経験をもとに、手術以外の多様な選択肢をご提案可能です。また、天神地区では数少ない皮膚科の保険診療も行っており、小さなお子様からご高齢の方まで幅広い肌トラブルに対応いたします。地域の皆様の健康寿命の延伸に貢献すべく努めてまいります。どうぞお気軽にご紹介・ご相談ください。

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通5-24-32
FPG links TENJIN MINAMI 5F
TEL 092-401-7000

【受付時間】

平日 9:30~13:00

14:00~17:30

(13:00~14:00診療可能日あり)

【休診日】

土曜、日曜、祝日 (臨時診療日あり)

※美容皮膚科は月曜午前、木曜終日も休診





プロジェクト概要

目標金額：1,500万円(第一目標)
 募集期間：2026年2月9日(月)10:00～5月8日(金)
 資金使途：病院救急車(ドクターカー)の購入費用の一部
 ※本プロジェクトはAll in 方式のため、目標金額の達成の有無にかかわらず実行者は寄附金を受け取ります。

ご寄附の方法

QRコード、もしくは検索からプロジェクトページを開き、クレジットカード、コンビニ支払い(※)または銀行振込にて、ご寄附をお願いいたします。
 インターネット上の手続きが難しい場合、当院までお持ち込みいただくことも可能です。

(※)コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップがご利用可能です。
 寄附金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご寄附でご利用いただけます。



お問合せ 福岡県済生会福岡総合病院 総務課
 TEL:092-771-8151(代表) Email:safuku-cf@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp

済生会福岡総合病院 レディーフォー

福岡の救急を守り抜く
その責任に確かな備えを
病院救急車増台へ

社会福祉法人 済生会
 福岡県済生会福岡総合病院

クラウドファンディングへの挑戦

地域の生を^{いのち}救うためのバトンを、
 決して途絶えさせないために。
 福岡の救急医療の未来をひらく、
 あなたのご寄附が必要です。

福岡地区の救急医療は今、かつてない困難に直面しています。救急搬送件数の著しい増加、医療圏を越えた広域搬送、さらには大規模災害への対応など、現場の負荷は限界に達しつつあります。地域医療の砦として、この状況をなんとかしたい。その思いから私たちは、新たな「病院救急車(ドクターカー)」の導入を決意しました。

病院救急車は、救急医療の「心臓」。
1秒でも早く迎え、送り出す

当院は3次救急医療機関と地域医療支援病院という二つの役割を担い、地域のニーズに応じた医療連携を強化しています。高齢者の救急搬送患者さんを受け入れて初期診療を行った後、状態に応じて地域の適切な医療機関へお送りする「転院搬送」を実施しています。また、地域のクリニックで発生した救急患者さんを当院で急性期治療を受けていただくために迎えに行く「お迎え搬送」も開始しており、病院所有の救急車(ドクターカー)による地域医療の円滑な機能維持に貢献しています。

これらを通して、消防救急車の稼働率を下げ、救急車の逼迫状況を少しでも抑えます。また、初期対応を終えた院内の患者さんをスムーズに継続治療が可能な他院へお送りし、病院のベッドに空きをつくります。福岡市内全体の救急医療の逼迫を抑えることができます。



DMATによる災害現場への迅速な出動

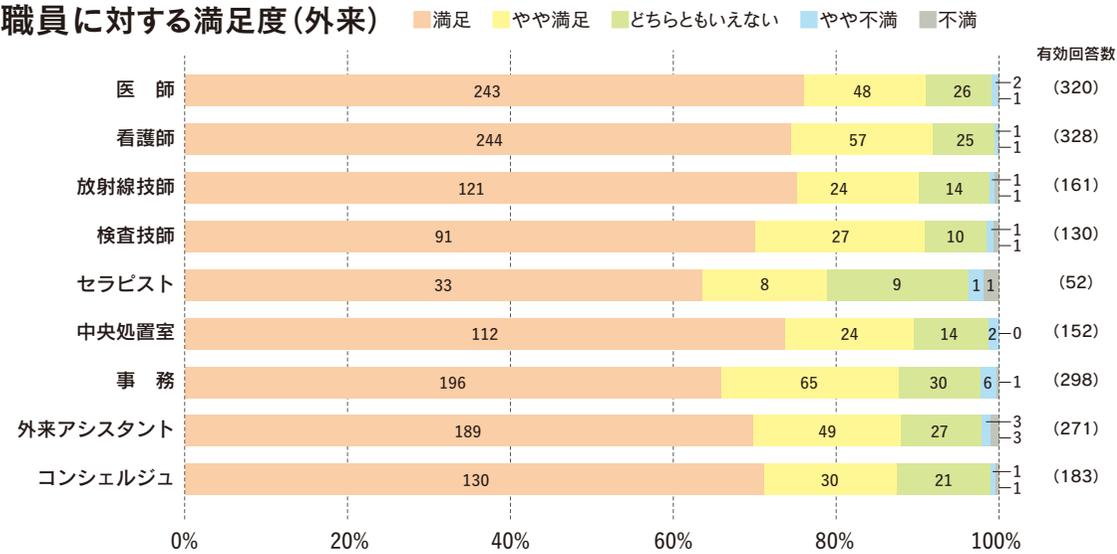
さらに、当院は災害拠点病院としてDMAT(災害派遣医療チーム)を保有し、災害発生時には速やかに活動できる体制を維持しています。災害現場では、多数傷病者の広域搬送や現場での応急処置など、柔軟な対応が求められ、病院救急車(ドクターカー)が非常に貴重な存在となります。

このように、①近隣医療機関への「お迎え搬送」、②急性期治療後の「転院搬送」、③災害時の「DMAT出動」を強化し、消防救急車の負担を軽減することで、福岡の救急医療を再び力強く動かします。車両の導入には大きな資金が必要のため、病院の財源だけでは足りません。そこで、クラウドファンディングを通して、地域の皆さまと共に命を守る「共創」への参加を募ることを決意しました。今回のクラウドファンディングは、資金面だけでなく、地域社会との絆を深め、共に未来の医療を創り上げるための大切な機会となります。

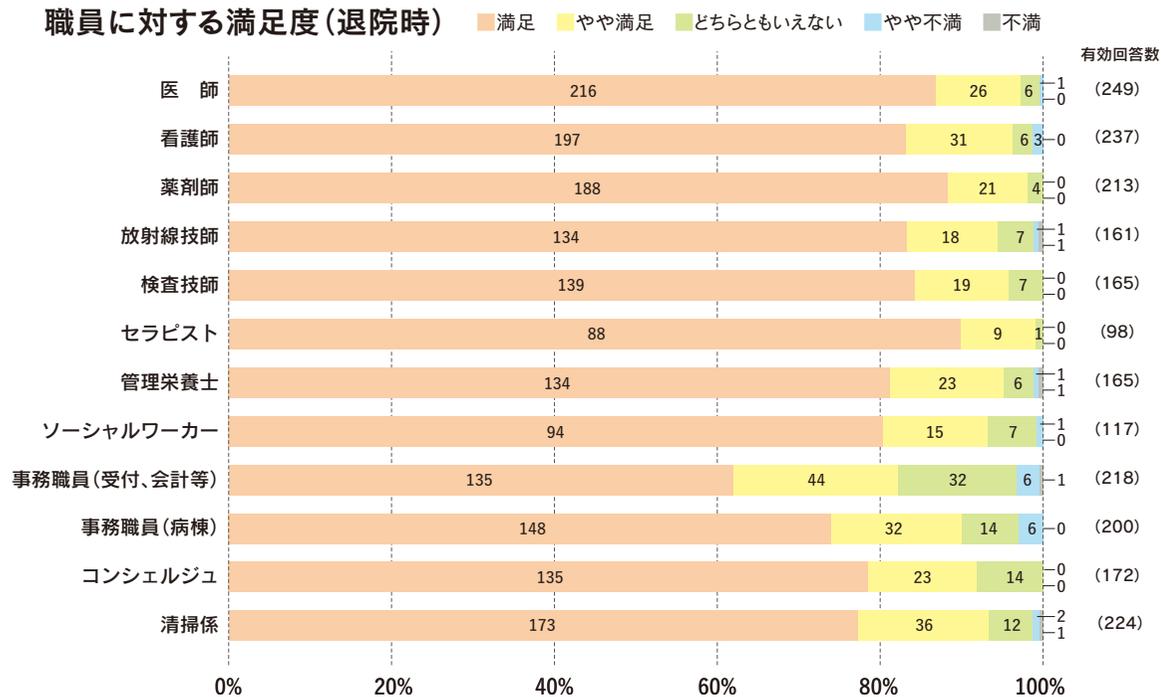
どうか、温かいご寄附と応援を、よろしく願っています。



職員に対する満足度(外来)



職員に対する満足度(退院時)



当院では、各フロアにメッセージBOXを設置していますので、満足度調査期間以外でも、お気づきのことがありましたらご意見をお寄せください。
 今回いただいたご意見につきましては、全職員に公表し、関係部署で対応策を検討しています。皆さまの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も信頼され、真の満足をしていただける病院を目指してまいります。

患者さん満足度調査および待ち時間調査

サービス推進委員会

調査期間

【入院】2025年9月1日(月)～9月30日(火)

【外来】2025年10月15日(水)～10月16日(木) (有効回答数 入院 257件 外来 384件)

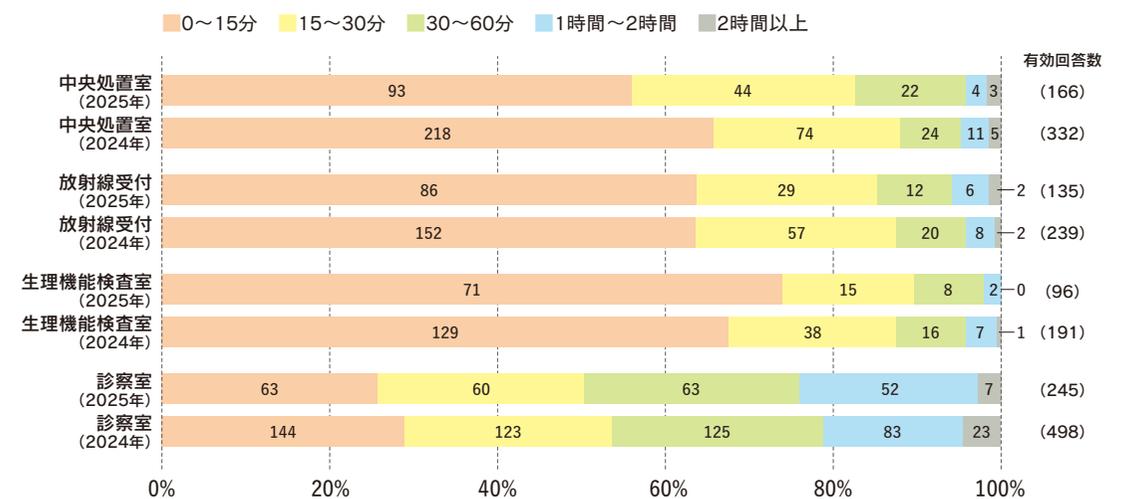
当院では、病院サービスの向上を目的に外来ならびに入院の患者さんを対象に「満足度および待ち時間調査」を実施しています。趣旨をご理解ご協力いただきました患者さんに心からお礼申し上げますとともに、ここにその調査結果についてご報告します。

今年度の当院に対する総合的な患者満足度(満足+やや満足)は、入院95.5%(昨年度95.9%)、外来91.1%(昨年度93.9%)でした。70%以上を目標としている「満足」は、入院75.3%(昨年度70.3%)、外来60.8%(昨年度66.7%)でした。

入院に関する総合的な患者満足度は、75.3%で、2012年以降で最も高い評価となりました。外来では残念ながら前回を下回りましたが、要因として電子カルテシステム改定に伴い受付対応の複雑化や案内表示の視認性低下が影響したと考えられます。マイナンバーカード推奨など医療現場のデジタル化が加速しており、当院でも対応を進めております。

フリーコメントでは、待ち時間や設備関連のご意見が多く寄せられました。一方で職員の接客評価は非常に高く「安心して治療を受けることができた」「親切でやさしい」といったコメントをいただきました。引き続き当院の理念である“地域社会の皆さまに信頼され、真の満足をしていただける病院づくり”を目指し各部署における改善活動とよりよい環境づくりに努めてまいります。

外来待ち時間調査(2024年-2025年比較)



Topics

Topic 1. CVIT九州地方会 開催レポート in アクロス福岡

- 第139回日本循環器学会九州地方会
- 第11回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会
- 第40回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 (CVIT)

2025年12月6日(土)、当院の正面に建つアクロス福岡で三学会合同地方会が開催されました。



CVIT九州地方会で大会長を務めた末松先生



YIA座長のお2人とCVIT理事を務める3人

循環器内科主任部長 末松延裕先生は、大会長としてCVIT九州地方会を主催しました。当院からは計21演題の発表を行い、その他にも座長やコメンテーターなど多くの役割を務めました。

医師2名が表彰

CVIT九州地方会では、当院循環器内科の先生が表彰を受けました。

- 巷岡 聡先生 (循環器内科 / TAVIチーム) : Young Investigator Award (YIA) 最優秀賞
- 石北陽仁先生 (循環器内科 / ECMOチーム) : Imaging Award 優秀賞

指導された坂本隆史先生とともに大変喜んでおられました。おめでとうございます!

心臓血管・大動脈センターでは、質の高い医療の提供のみならず、学会での発信も積極的に行うことで社会貢献に努めています。



会場となったアクロス福岡を背景に



指導医の久保田副院長・坂本先生と記念撮影

Topics

Topic 2. 化学療法を受ける患者さんへ お手製クリスマスカード

がん治療センター化学療法室では、12月24~25日の2日間、治療に訪れる患者さんへ手作りのクリスマスカードを作成しお渡ししました。

スタッフによるメッセージカードのお渡しは2年前からはじまり、年々凝ったデザインに!看護師たちは業務の合間や自宅で、患者さんをイメージしながらコツコツ作成したとのこと。

お渡しした患者さんの中には、「生まれて初めてもらった!」と喜ぶ方や、化学療法を再開することになり久しぶりに訪れて感極まって涙を流された方など、治療で落ち込みがちな気持ちをそっと和らげるきっかけになったようです。

化学療法は治療期間が長く心身ともに落ち込みがちですが、少しでも癒やしになればと寄り添うスタッフたちの温かい気持ちを感じる年末のイベントでした。



化学療法室のスタッフたちで作成しお渡ししたカード



退任医師
11月30日付
腎臓内科 竹内 亮
1月31日付
腎臓内科 太田 光亮

①2月1日
②7年目
③長崎県佐世保市
④野球観戦
⑤何でもご相談ください。
みろくお願ひします。

腎臓内科
医師
村山 博之
むらやま ひろゆき



①採用日 ②医師経験年数 ③出身地 ④趣味 ⑤一言コメント

各科診療担当表

2026年2月1日現在

		月	火	水	木	金	
内科 (糖尿病、腎臓、感染症、血液)	糖尿病	澤田	緒方	緒方	澤田	木野	
	腎臓			原	安部		
	感染症			岩崎		藤吉	
	血液	齋藤(再来予約のみ)	齋藤(再来予約のみ)	吉野(再来予約のみ)	九州大Dr(再来予約のみ)	齋藤(新患のみ)	
渡航ワクチン外来 (完全予約制)					感染症Dr(13:30~16:00)		
心療内科 新患*予約制	新患			棚橋(午前)	棚橋(午前)		
	再来		棚橋(午後)			棚橋(午後)	
消化器センター (消化管、肝胆膵)	内科	消化管	水谷	落合	水谷	落合	向坂(第1.3.5)・畑(第2.4)
		肝・胆・膵		立花	明石	立花	明石
	外科	消化管	九州大Dr	宮崎		九州大Dr	宮崎
		肝胆膵	定永	松浦・本坊	廣瀬・藤本	定永・藤本	本坊・廣瀬
呼吸器センター	内科	午前	古山(再来予約のみ)	古山	古山(再来予約のみ)・九州大Dr	古山(再来予約のみ)	古山・水崎
		午後		水崎(再来予約のみ)			
	外科		平井・長野		平井		
総合診療部		交替制 ※当院は臨床研修病院のため、指導医の指導のもと研修医が基本的に診療を行っています。					
心臓血管・大動脈センター	循環器内科 新患・再来*予約制	新患	坂本	末松	久保田	長友	権藤
		再来	長友・萬納寺・内川	坂本・巷岡	石北	久保田・野副・三宅	末松・中城
	心臓血管外科 新患*予約制	新患		峰松	峰松		
		再来		伊東(千)	峰松		交替
血管外科			伊東(啓)・岡留		伊東(啓)		
乳腺外科 (完全予約制)		×	茂地・九州大Dr	×	茂地・九州大Dr	茂地 非常勤Dr(第1・3金曜のみ)	
がん治療センター *予約制	化学療法外来 (協診のみ)	新患	大賀	大賀	大賀	大賀	大賀
		再来	齋藤	齋藤	吉野	九州大Dr	齋藤(新患のみ)
	緩和ケア外来	交替制					
ゲノム外来	交替制						
脳卒中センター	脳神経外科		梶原・宮城	交替制(新患のみ)	河野・大津	×	河野・安藤
	脳神経内科	新患(午前)	田中	園田	川尻	田中・原	近藤
		再来(午後)	近藤	川尻・田中	田中	川尻・原	園田
泌尿器科 (要紹介状) 新患*予約制		上領	上領(第1・3・5火曜のみ)	上領	上領	上領	
整形外科 (要紹介状)		水内・屋良・江崎	屋良・泊・宮房	春田・泊	水内・宮房・有園	春田・倉本	
形成外科 (要紹介状) *診療時間 8:30~11:00		右田・岡村・野田	右田・岡村・野田	右田・岡村・野田	×	右田・岡村・野田	
婦人科 (要紹介状) 新患*予約制		西・松浦・遅野井	丸山・米田・小玉	西・衛藤・眞鍋	松浦・小玉・衛藤	丸山・米田・遅野井	
眼科 (要紹介状) 新患*予約制		×	小林・福山	×	小林・福山	小林・福山	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科 (要紹介状)		小山・浦本	田中・浦本	交替制 新患のみ(8:30~10:30)	小山・田中	交替制 新患のみ(8:30~10:30)	
放射線科		中山・大島	中山・大島	中山・大島	中山・大島	中山・大島	

◆当院を受診する際には、基本的に紹介状が必要になります。 ◆土曜日は全科休診です。 ◆×は手術日のため、休診です。
◆当院は厚生労働省の方針に従い、紹介状をお持ちでない方は初診にかかる選定療養費を申し受けます。

受診(初診)受付時間
平日
午前8:30~11:30

済生ふくおか ふくふくネット vol.073 2026年2月発行

■発行：済生会福岡総合病院
福岡市中央区天神1丁目3-46 tel 092-771-8151
■発行責任者：定永 倫明
■印刷：株式会社西日本新聞プロダクツ

ホームページへの
アクセスはこちら

